

令和 8 年 5 月 26 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

石油ふろがま、電気ストーブ（カーボンヒーター）、電気ケトルに関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

1. ガス機器・石油機器に関する事故 1 件
（うち石油ふろがま 1 件）
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 23 件
（うち電動立ち乗り二輪車 1 件、電気式浴室換気乾燥暖房機 1 件、
電気掃除機 2 件、サーキュレーター 1 件、温水式浴室換気乾燥暖房機 1 件、
電子レンジ 1 件、照明器具（充電式）1 件、扇風機（充電式）1 件、
照明器具 9 件、充電器 1 件、除湿器 1 件、IH 調理器 1 件、
電気ストーブ（カーボンヒーター）1 件、電気ケトル 1 件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 4 件
（うちリチウム電池内蔵充電器 1 件、
パワーコンディショナ（太陽光発電システム用）1 件、
リチウム蓄電池 1 件、エアコン（室外機）1 件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において、審議を予定している案件
該当案件なし

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません（管理番号：A202200503、A202200900、A202201043、A202201044、A202300040、A202300073、A202300097、A202300437、A202300438、A202301030、A202301130、A202301136、A202400007、A202400261、A202400850、A202500061、A202500223、A202500325、A202500418、A202500500、A202500597 を除く。）。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社長府製作所が製造した石油ふろがまについて(管理番号:A202600139)

①事故事象について

株式会社長府製作所(法人番号:8250001005924)が製造した石油ふろがまを焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、機器の修理、点検及び空だき防止装置の作動状況を判定するために一時的に使用する点検用コネクター(空だき防止装置を働かせないようにするもの)を修理・点検後に戻し忘れたため、空だきとなった際に空だき防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品(下記③)について、事故の再発防止を図るため、2007年(平成19年)7月27日にプレスリリース、ウェブサイトへの情報掲載、翌28日に新聞社告を行い、点検用コネクターが付属されている全ての製品について、無償点検による点検用コネクターの回収を実施しています。

また、他の対象製品と電気回路や熱交換器の構造等が一部異なる2機種(CK-11及びCK-11S)については、空だき防止回路が不安定となることによって空だき防止装置の作動頻度が多くなり、修理・点検の回数も増え、点検用コネクターの戻し忘れの可能性が高くなることから、安定的な作動を確保するため基板を交換する改修も実施しています。

同社は、無償点検及び点検用コネクターの回収等を促進するため、2009年(平成21年)10月から2010年(平成22年)3月までテレビCM放映により、また、継続的に、販売店、サービス店を通じ、同社製品全般の修理・点検時に対象製品があった場合には、点検用コネクターの戻し忘れがないかの確認及び回収等を徹底するとともに、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等により、対象製品の使用者に対し呼び掛けを行っています。

③対象製品：品目、型式、製造期間、対象台数

品目	型式	製造期間	対象台数
石油ふろがま	JK、JK2、JK-N ※ (バーナー型式：BM-71K、BM-71KT) (セット型式：JPK、JPS-T、JPK-N)	1984年7月 ～ 1991年9月	243,420
	JPS-T3、JPK-N3(バーナー型式：BM-73K) (バーナー製造番号 000001～238930、500002～588761 が対象)	1991年8月 ～ 2001年9月	257,603
	CK-8、CK-8E	1985年1月 ～ 1992年5月	23,815
	CK-9、CK-9E	1985年11月 ～ 1987年7月	3,840
	CK-10、CK-10S (製造番号 000001～040080 が対象)	1986年12月 ～ 2001年9月	54,181

	CK-11、CK-11S	1987 年 4 月 ～ 1999 年 10 月	111, 085
	小 計		693, 944

品目	型式	製造期間	対象台数
追いだき付 石油給湯器	JIB-T	1984 年 11 月 ～ 1988 年 1 月	3, 150
	JIB-2T	1984 年 10 月 ～ 1988 年 7 月	9, 093
	JIB-4	1983 年 4 月 ～ 1984 年 8 月	4, 323
	JIB-5、JIB-5E、JIB-5S、JIB-5SE	1983 年 11 月 ～ 1986 年 7 月	12, 990
	JIB-6N、JIB-6NE、JIB-6NEG、 JIB-6NS、JIB-6NSG、JIB-6EA、 JIB-6EAG、JIB-6SA、JIB-6SAG	1986 年 3 月 ～ 1988 年 4 月	30, 333
	JIB-7EG、JIB-7S、JIB-7SAG、 JIB-7SG	1987 年 12 月 ～ 1991 年 12 月	39, 134
	小 計		99, 023
合 計			792, 967

（注）※印の型式については、機器本体に表示がされており、別途、バーナー部にはバーナー型式名、取扱説明書にはセット型式名が表示されています。

2007 年（平成 19 年）7 月 27 日からリコール（無償点検・改修）を実施
改修率：34.9%（2026 年 4 月 30 日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2010 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2026年度	0	—	2017年度	3	火災
2025年度	0	—	2016年度	7	火災
2024年度	0	—	2015年度	3	火災
2023年度	0	—	2014年度	4	火災
2022年度	1	火災	2013年度	2	火災
2021年度	1	火災	2012年度	5	火災
2020年度	1	火災	2011年度	7	火災
2019年度	3	火災	2010年度	1	火災
2018年度	1	火災			

※当該事故（管理番号：A202600139）は含まない。

<対象製品の外観及び確認方法>

図は一例ですが、本体正面又は側面に型式名の表示があります。



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び改修を受けていない方は、浴槽に水があることを確認して使用していただくとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社長府製作所

電話番号：0120(911)870

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：https://www.chofu.co.jp/detail_news.php?id=15

(2) ユアサプライムス株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について（管理番号：A202600138）

①事象について

ユアサプライムス株式会社（法人番号：6010001059673）が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）を店舗で使用し、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していました。現在、原因を調査中です。

②当該製品のリコール（回収・返金）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、強弱切替え用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2016年（平成28年）3月19日にウェブサイトへの情報掲載及び新聞社告を行うとともに、同日以降、販売店等への協力要請を行い、対象製品について回収及び返金を実施しています。

なお、今般報告のあった当該製品（管理番号：A202600138）の事故の原因が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：製品名、型番、販売期間、対象台数

製品名	型番※	販売期間	対象台数
電気ストーブ （カーボンヒーター）	YA-C945SR (WH)	2015年9月29日 ～ 2016年2月20日	18,940
	KYA-C915R (WH)		
	YA-C900S (WH)		

※YA-C945SR (WH) 及び KYA-C915R (WH) はリモコンタイプ

YA-C900S (WH) はメカタイプ

2016年（平成28年）3月19日からリコール（回収・返金）を実施

回収率：34.3%（2026年4月24日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

対象製品におけるリコール対象の内容による2015年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2026年度	0	—	2020年度	0	—
2025年度	0	—	2019年度	3	火災
2024年度	0	—	2018年度	7	火災
2023年度	3	火災	2017年度	8	火災
2022年度	0	—	2016年度	6	火災
2021年度	2	火災	2015年度	1	火災

※当該事故（管理番号：A202600138）は含まない。

＜対象製品の外観及び確認方法＞

本体正面に表示されている型番を御確認ください。

リモコンタイプ



型番
YA-C945SR (WH)
KYA-C915R (WH)

いずれかの型番が記載

型番
YA-C900S (WH)

メカタイプ



強弱切替え用
のつまみあり

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う回収及び返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ユアサプライムス株式会社 お客様相談窓口

電話番号：0120(988)475

受付時間：10時～12時、13時～17時
(土・日・祝日を除く。)

ウェブサイト：<https://www.yuasa-p.co.jp/wp-content/uploads/2023/11/1528a78d439851bdee234f7e62b6bf2b.pdf>

(3) 株式会社グループセブジャパンが販売した電気ケトルについて
(管理番号：A202600140)

①事象について

株式会社グループセブジャパン（法人番号：7010701002766）が販売した電気ケトルを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、特定の製造ロットにおいて、電源コードの不適切な使用方法によって電源プラグが破損し、使用の際に、コンセント近辺での発煙ないし発火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2025年（令和7年）9月16日にホームページに情報を掲載するとともに、プレスリリース、SNSの発信及び取引先販売事業者から購入者に対してダイレクトメールの配信を行い、対象製品について電源プレートの交換（無償）を実施しています。

③対象製品：商品名、製品品番、製造時期（4桁の番号）、対象台数

商品名	製品品番	製造時期（4桁の番号）	対象台数
ティファール 電気ケトル	製品品番、製造時期（4桁の番号）は下記「【問合せ先】ウェブサイト」を参照		4,185,393

2025年（令和7年）9月16日からリコール（電源プレートの交換（無償））を実施

交換率：14.8%（2026年5月25日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による2025年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況
2026年度	0	—
2025年度	3	火災

※当該事故（管理番号：A202600140）は含まない。

＜対象製品の外観、確認方法＞
対象製品の外観



上写真は一例として「アプレシア プラス シェガ-ピンク 0.8L (BF805774)」を掲載しています。

確認方法

電気ケトル本体の底面には、扇形や長方形のラベルが貼られています(※1)。
ラベルの青枠内が製品品番、赤枠内が4桁の番号です。
お手持ちの製品の製品品番と4桁の番号が共に、別表の対象製品と合致する場合、下記の窓口から無償交換のお申込みをお願いいたします。

- (※1) 製品によっては、ラベルの形やサイズおよび印字内容やレイアウトが写真と異なります。
「ウオッシュブル 0.8L」(製品名)のみ、ラベルではなく電気ケトル本体の底面に、製品品番と4桁の番号が刻印されています。

【ラベルが貼られている箇所】



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う電源プレートの無償交換を申し込まれていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社グループセブジャパン ティファール電気ケトル電源プレート無償交換事務局

受付窓口：受付時間 9時～18時（土・日・祝日を含む。）

電話番号：0120-153-020（フリーダイヤル）

ウェブサイト：<https://www.t-fal.co.jp/news/250916-1/>

※オンライン受付フォーム（24時間）

<https://www.t-fal.co.jp/news/250916-2/>

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：荒木、上田（俊）、別所、箭竹、上田（謙）

電話：03(3507)9204（直通）

URL：<https://www.caa.go.jp/>

経済産業省産業保安・安全グループ製品安全課製品事故対策室

担当：日野、松本、中谷

電話：03(3501)1511（内線）4311

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

受理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600139	令和8年5月13日	令和8年5月22日	石油ふろがま	CK-11S	株式会社長府製作所	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。事故の原因は、現在、調査中であるが、機器の修理、点検及び空だき防止装置の作動状況を判定するために一時的に使用する点検用コネクター(空だき防止装置を働かせないようにするもの)を、修理・点検後に戻し忘れたため、空だきとなった際に空だき防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	群馬県	製造から25年以上経過した製品 平成19年7月27日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:34.9%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202200503	令和4年9月4日	令和4年9月4日	電動立ち乗り二輪車	bicycle-balancexx	日本タイガー電器株式会社 (輸入事業者)	火災	倉庫で当該製品を充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。調査の結果、当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定には至らなかった。	熊本県	令和4年9月30日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202200900	令和5年1月19日	令和5年2月2日	電気式浴室換気乾燥暖房機	BS-57(トステム株式会社ブランド:型式RMEG002)	マックスシンワ株式会社(現 マックス株式会社)(トステム株式会社ブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。調査の結果、当該製品は、長期使用(約19年)により、ヒートシンク内部に導電性液体が浸入した結果、腐食生成物が堆積し、PTCヒーターに通電するタブ端子に短絡が生じて焼損したものと推定される。	神奈川県	令和5年2月7日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202201043	令和4年7月4日	令和5年3月14日	電気掃除機	MS159	株式会社JIMO (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品の電源プラグ及び周辺を焼損する火災が発生した。調査の結果、当該製品の電源プラグの栓刃がプラグ内で溶断し、接触不良により発熱して電源プラグが焼損したものと推定されるが、栓刃が溶断した原因の特定には至らなかった。	神奈川県	令和5年3月17日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202201044	令和4年10月14日	令和5年3月14日	電気掃除機	H594	株式会社JIMO (輸入事業者)	火災	店舗で当該製品を使用中、当該製品の電源プラグ及び周辺を焼損する火災が発生した。調査の結果、当該製品の電源プラグの栓刃がプラグ内で折損し、接触不良により発熱して電源プラグが焼損したものと推定されるが、栓刃が溶断した原因の特定には至らなかった。	東京都	令和5年3月17日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202300040	令和5年4月10日	令和5年4月18日	サーキュレーター	HC-T1805	スリーアップ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、内部の電源配線が半断線し異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	宮崎県	令和5年4月21日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202300073	令和5年4月25日	令和5年5月1日	温水式浴室換気乾燥暖房機	BDV-4102WK (大阪ガス株式会社ブランド)	株式会社ノーリツ(大阪ガス株式会社ブランド) (輸入事業者)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、電源基板上のセラミックコンデンサー付近で異常発熱が発生して出火したものと推定されるが、異常発熱した原因の特定には至らなかった。	大阪府	令和5年5月9日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202300097	令和5年4月15日	令和5年5月10日	電子レンジ	IM-574(岩谷産業株式会社ブランド)	株式会社千石(岩谷産業株式会社ブランド) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用後、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品は、出力切替スイッチ内部から出火したものと推定されるが、出力切替スイッチの焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	福岡県	令和5年5月12日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202300437	令和5年8月14日	令和5年8月22日	照明器具(充電式)	SL-RSW030AD-W	株式会社オーム電機 (輸入事業者)	火災	当該製品を充電後、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定には至らなかった。	大阪府	令和5年8月25日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202300438	令和5年8月9日	令和5年8月22日	扇風機(充電式)	SF-DFC30WT	株式会社トップブランド (輸入事業者)	火災	倉庫で当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、異常発熱した原因の特定には至らなかった。	千葉県	令和5年8月25日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202301030	令和6年2月4日	令和6年2月19日	照明器具	CL8D-5.0KL	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙する火災が発生していた。調査の結果、当該製品は、LED基板上で3並列回路の1つのLED素子が故障して電流が流れなくなったことにより、並列接続していた他のLED素子に過電流が生じ、異常発熱して焼損が拡大したものと推定されるが、焼損が著しく、LED素子が故障した原因の特定には至らなかった。	鹿児島県	令和6年2月22日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202301130	令和6年3月7日	令和6年3月19日	照明器具	CL6D-5.0	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品の内部を焼損する火災が発生した。調査の結果、当該製品は、LED基板上で2並列回路の1つのLED素子が故障して電流が流れなくなったことにより、並列接続していた他のLED素子に過電流が生じ、異常発熱して焼損が拡大したものと推定されるが、焼損が著しく、LED素子が故障した原因の特定には至らなかった。	福岡県	令和6年3月22日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202301136	令和6年3月13日	令和6年3月21日	照明器具	CL6D-N1	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。調査の結果、当該製品は、2並列回路の1つのLEDが故障して電流が流れなくなったため、並列接続していた対になるLEDに過電流が生じ、異常発熱して焼損したものと推定されるが、LEDが故障した原因の特定には至らなかった。	兵庫県	令和6年3月26日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202400007	令和5年3月1日	令和6年4月2日	充電器	DC18RC	株式会社Revive (輸入事業者)	火災	車両の荷台に置いていた当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。調査の結果、当該製品は、接続していたバッテリーからの電力により基板が異常発熱して出火したものと推定されるが、基板の焼損が著しく、基板が異常発熱した原因の特定には至らなかった。	兵庫県	令和6年4月5日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202400261	令和6年6月15日	令和6年6月24日	照明器具	CL14DL-5.0WF-M	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品内部を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。調査の結果、当該製品は、電源基板の平滑用フィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	北海道	令和6年6月28日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202400850	令和6年11月9日	令和6年11月18日	照明器具	CL12DL-AGL	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	ブレーカーを入れ直したところ、当該製品内部を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、電源基板上の平滑用フィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて焼損したものと推定される。	愛知県	令和6年11月22日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202500061	令和7年3月19日	令和7年4月22日	除湿機	IJD-I50	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品は、除湿ローターに吸着された有機物が、ヒーターの熱で過熱されて異常発熱し、ヒーター及び除湿ローター周辺を焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	岐阜県	令和7年4月25日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202500223	令和7年6月1日	令和7年6月13日	IH調理器	IHC-B111	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品から発火する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、電源基板上の平滑用フィルムコンデンサーの不具合により、コンデンサー内部で絶縁性能が低下したため、内部短絡が生じて出火したものと推定される。	広島県	令和7年6月17日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202500325	令和7年7月2日	令和7年7月14日	照明器具	CL14D-5.11V	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品のスイッチを入れたところ、当該製品から発煙し、周辺を汚損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、電源基板上の平滑用フィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて異常発熱し焼損したものと推定される。	東京都	令和7年7月18日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202500418	令和7年7月23日	令和7年8月4日	照明器具	CL12D-5.0	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、電源基板の平滑用フィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	滋賀県	令和7年8月8日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202500500	令和7年8月12日	令和7年8月21日	照明器具	CL12D-5.0	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙し、周辺を汚損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品は、電源基板上の平滑用フィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて異常発熱し焼損したものと推定される。	東京都	令和7年8月26日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202500597	令和7年9月3日	令和7年9月10日	照明器具	CL14DL-5.11CFV	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。調査の結果、当該製品は、電源基板上の平滑用フィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて焼損したものと推定される。	愛知県	令和7年9月12日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202600138	令和8年4月25日	令和8年5月21日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	KYA-C915R(WH)	ユアサプライムス株式会社 (輸入事業者)	火災	店舗で当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	和歌山県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年5月12日 平成28年3月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:34.3%
A202600140	令和8年3月11日	令和8年5月22日	電気ケトル	KO4904JP	株式会社グループセブジャパン (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、特定の製造ロットにおいて、電源コードの不適切な使用方法によって電源プラグが破損し、使用の際に、コンセント近辺での発煙ないし発火に至ったものと考えられる。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年5月19日 令和7年9月16日からリコールを実施(特記事項を参照) 交換率:14.8%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202600135	令和8年3月12日	令和8年5月21日	リチウム電池内蔵充電器	火災	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	三重県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和8年3月16日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 嚴重注意
A202600136	令和8年5月10日	令和8年5月21日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	
A202600137	令和8年5月11日	令和8年5月21日	リチウム蓄電池	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品から発煙し、周辺を汚損する火災が発生していた。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	
A202600141	令和8年5月15日	令和8年5月22日	エアコン(室外機)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	愛知県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において審議を予定している案件
該当案件なし